

# 第10回 応用生態工学会 全国フィールドシンポジウム in 浜松



明治期の治山治水と現代の総合土砂管理が将来の天竜川流域を富ます  
～流砂が支える河川—海岸の生態系を保全するために～

主催：応用生態工学会 普及・連携委員会

後援：国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

協力：調整中

シンポジウム(定員 130名):11月14日(水) 14時～17時(開場:13時15分)

会場：浜松市地域情報センター(〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12-7)

## ■基調講演(講演40分×2題)

①:「金原明善公の偉業～あばれ竜を命の川へ～」

金原利幸氏(一般財団法人金原治山治水財団:明善記念館・館長)

②:「自然堤防帯河道の高水敷掘削後の土砂堆積に流域特性が及ぼす影響」

原田守啓氏(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)

## ■パネルディスカッション

話題提供(15分×3題、質疑込み)

①:「天竜川流砂系における総合土砂管理」 戸田祐嗣氏(名古屋大学大学院工学研究科教授)

②:「遠州灘沿岸(静岡県)の侵食対策」 太田博文氏(静岡県交通基盤部河川砂防局長)

③:「天竜川の恵みを育み活かす砂州地形を考える」 竹門康弘氏(京都大学防災研究所准教授)

総合討議(50分)

「自然と共生する天竜川流域のための地形・土砂管理とは？」

パネリスト:金原氏、原田氏、戸田氏、竹門氏、  
田中里佳氏(浜松河川国道事務所長)、  
平野國行氏(天竜川漁協代表理事組合長)

コーディネータ:田代 喬氏(名古屋大学減災連携研究センター特任教授)

コメンテータ:河口洋一氏(徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授)

## ■懇親会:18:00～



©2018 tenryuubranding  
天竜川(下流部) マスコットキャラクター  
「りゅっぴい」

フィールドツアー(定員40名):11月15日(木) 9時～15時(集合:8時45分)

集合解散場所:浜松駅北口 交通手段:マイクロバス

## ■見学場所:天竜川下流部、船明ダム、金原明善記念館、天竜川河口(砂嘴)など

- ・飲み物、雨具(必要に応じて)持参。動きやすい服装、履物でご参加下さい。(昼食は会費に含まれています)
- ・悪天候によりフィールドツアーを中止する場合は、参加者に事前にご連絡します。

■参加費:シンポジウムは無料、フィールドツアーは2000円、懇親会は5000円を予定しています。

■参加申し込み連絡先:所属・氏名・連絡先・参加内容(シンポジウム、フィールドツアー、懇親会)を明記し、下記までEメールでお申し込みください。

フィールドシンポジウム in 浜松実行委員会(担当:島田)

Eメール:2018fs\_tenryu@tk.pacific.co.jp

申し込み締切日

11月9日(金)